



動機づけ

校長 小島 淳

私の両親は「〇〇したら、□□を買ってあげる」といった約束を絶対しませんでした。なので、「今度テストの点がよかったら、ファミコン買ってもらう約束した」と、高校時代に友人から聞いた時は、とても羨ましく思ったものです。

教育経済学者の中室牧子氏は、著書『「学力」の経済学』で、ハーバード大学のフライヤー教授が行った『「テストでよい点をとったらご褒美」と「本を1冊読んだらご褒美」では、どちらが子どもの学力を上げるか』という実験を紹介しています。どちらが子どもの学力を上げたと思いますか？

結果は「本を1冊読んだらご褒美」でした。

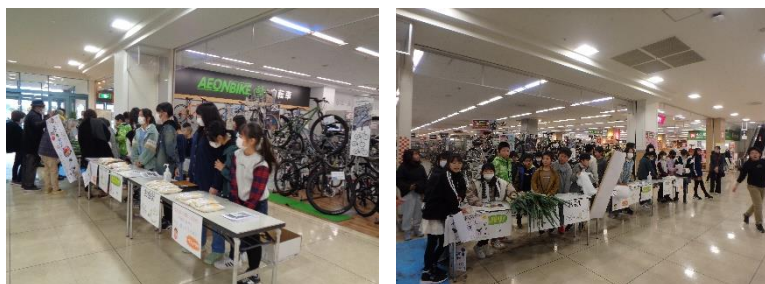
双方の違いは、「ご褒美」の対象が「アウトプット」か「インプット」か、です。テストの結果（アウトプット）をよくするには、勉強（インプット）が必要です。本を読む（勉強する/インプット）に対してご褒美を出したら、学習意欲が向上し結果が良くなった。よく考えれば当然のことです。この結果から中室氏は、もし成績を上げるために「ご褒美」を与えるなら、インプットに対して行うべきとしています。ただし、中室氏はご褒美を推奨しているのではなく、エビデンスを元に「ご褒美を与えるならインプットへ」と述べているに過ぎません。

エビデンスはありませんが、学力向上のためのご褒美の効果は、即効性があっても持続性がないと、私は考えます。なぜなら、「毎日宿題をしたら、お小遣いをあげるよ」と言えばすぐさま頑張ると思いますが、そのうち「宿題するからお小遣い頂戴」という要求が出てくることが目に見えるからです。実際、冒頭の私の友人は、次のテストの前に更なる高価なご褒美を望む発言をしました。私は流石に呆れ、たしなめたものです。

このように、「ご褒美」で行動を促すことを「**外発的動機づけ**」と言います。それに対して、好奇心や探求心など内面から湧き上がる欲求を満たすために、自発的に行動することを「**内発的動機づけ**」と言います。探求心を原動力に学習に取り組んで力を付けることは、AIと共存する社会を生きる子どもたちにとって必要不可欠であると考えます。ですが、趣味や得意な事ならともかく、内面から学習意欲が湧き上がる人は稀だと思います。ですから、とりかかりを「外発的」に動機づけることは有りだと思います。重要なのは、どのようなご褒美にするのか、そしていかに「内発的」にシフトさせていくか、なのだと思います。学校と家庭は、それぞれの立場から知恵を絞る必要があると考えます。

…かくいう私は、小6の娘に勉強させるためにどう動機づけたらよいか絶賛悩み中です。私の想いを押し付けると娘のやる気を損なう危険があります。といって黙って娘の様子を見ているとイライラします。明快な答えが見つかりません。とりあえず、家庭学習をしている（しようとする）姿を見た時（インプットの時）に、余計なことを言わずに褒める（認める）ことを心掛けています。

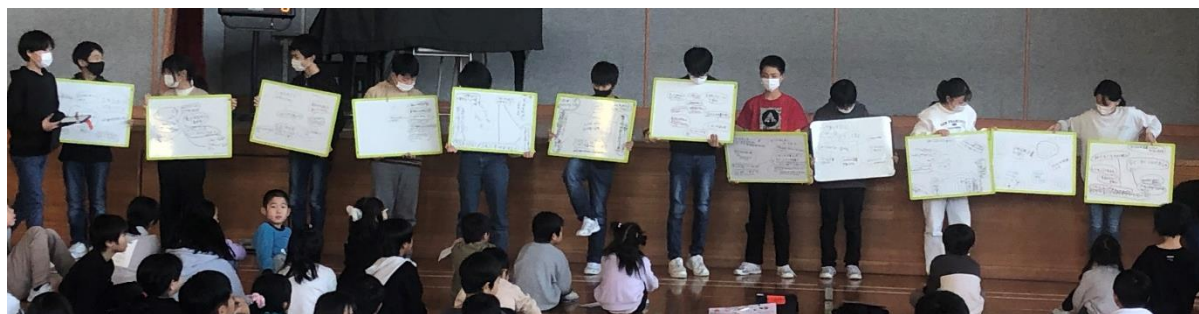
いらっしゃい、いらっしゃい！



12月7日（木）、イオン上越ショッピングセンターに子どもたちの元気な掛け声が響き渡りました。5年生は9月に収穫したお米を、3年生は12月上旬に収穫したネギを一般の人たちに買ってもらうために、お店を出しました。たくさん商品を用意したのですが、1時間もかからずお米もネギも完売しました。イオンまで応援に駆けつけてくださった保護者の皆様、出店のためにいろいろとお力を貸していただきました地域の皆様、ありがとうございました。



いじめ見逃しゼロスクール集会(里公小)



12月8日（金）、全校で体育館に集まり、いじめ見逃しゼロスクール集会を行いました。事前に総務委員会が「どんな里公小学校にしたいか」のアンケートをとった結果、「みんなが安全安心でいられる学校」「相手を思いやる人がたくさんいる学校」といった考えがでてきました。目指す学校を実現するために必要な事について縦割り班で意見を出し合いました。

誰かをいじめてやろうと考える人は里公小にはいません。でも、思い込みや間違った判断、その場の雰囲気によって流されて行った行動や言葉遣いによって、相手を傷つけてしまっていることに気付かない人がいます。そういった無自覚ないじめ行為を互いに見逃さず、「みんなで笑顔になろう」が実現する学校風土を作ってほしいと思います。

ヤギの卒業式

ヤギの様子がおかしいことに気付いた1年生。「ヤギさんは赤ちゃんを産みたがっていて、そのためには返さなければならない」と聞いた1年生。「せっかく仲良くなったから、もっと一緒にいたい」という意見と「学校にいたら赤ちゃんを産めないのかわいそうだ」という意見に分かれました。何度か話し合った結果、12月13日（水）に卒業式を行うことにしました。

「仲良くしてくれてありがとう」とメッセージを伝え卒業証書を渡しました。2頭のヤギはもらったエサに夢中。ほんわかあったかな卒業式となりました。



いじめ見逃しゼロスクール集会(三和中学校校区)

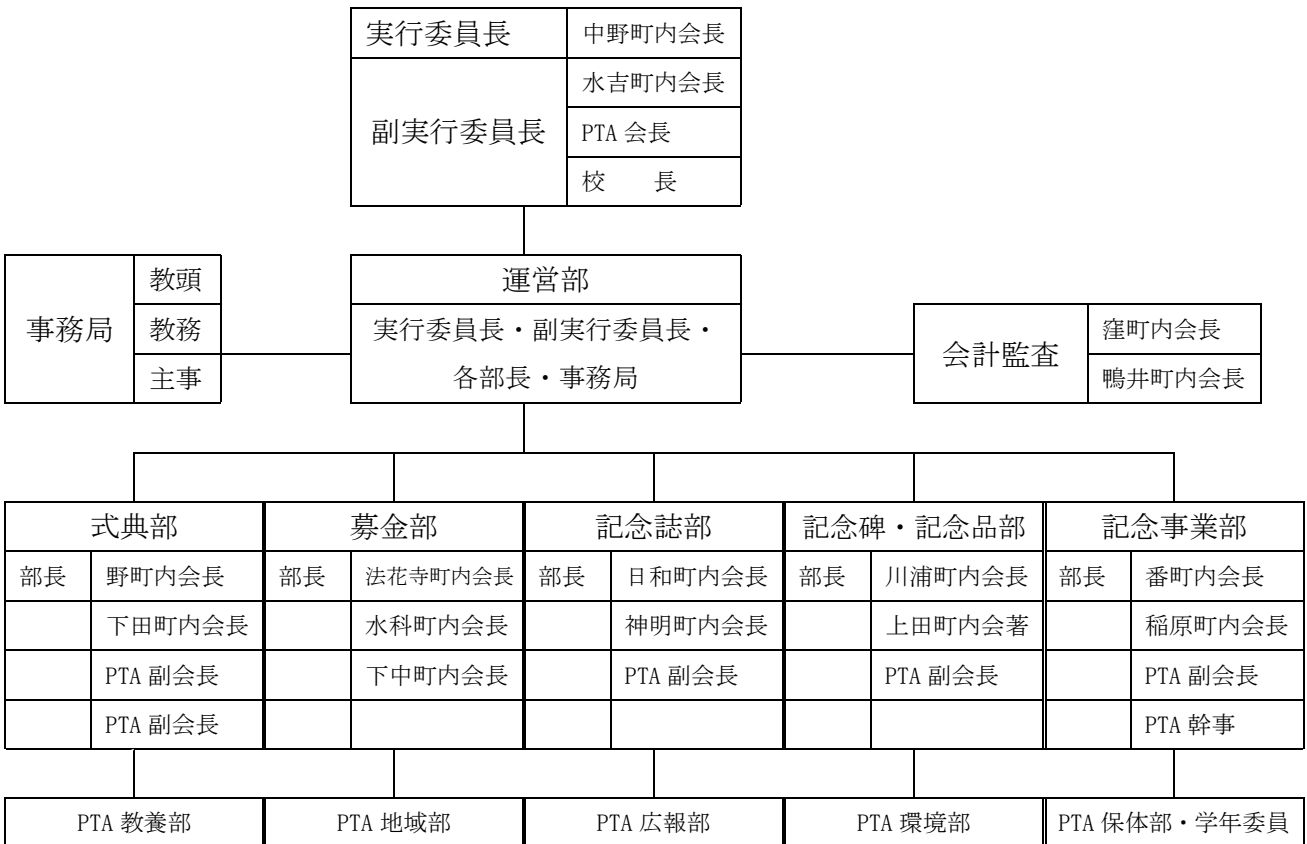


11月30日(木)、6年生は三和中学校校区のいじめ見逃しゼロスクール集会に参加しました。各校の取組を発表し合いました。当校からは、5名の代表児童が堂々と学校の取組を発表し、頼もしく感じました。その後、新潟県「いじめ見逃しゼロキャラバン隊」のひなたさん(2人組デュオ)の講演と歌をお聞きし、6年生と中学生でグループになり、「日頃の生活の中で、友達と仲良くするために気を付けていること」について意見交流をしました。

ひなたのお二人の話を聞いて子どもたちは、「人とのつながり」「気持ちのもち方」について、感じ取っていたようです。

閉校記念事業実行委員会

来年度末の閉校が決定しました。それを受け、これまで、里公小学校閉校記念事業実行委員会の発足のための準備会を4回行い、組織や記念事業の内容について検討してきました。第1回の実行委員会を1月19日(金)に開催され、閉校記念事業の準備が始まります。事業は下記の組織を中心に進めていただくこととなります。



※町内会・PTAの役員交代や学校職員の異動があった場合は、後任が閉校実行委員会の役職を引き継ぐこととなります。

保護者連絡システム

欠席・遅刻の報告方法が、電話から保護者連絡システム（携帯端末のアプリ）に切り替わりました。これは、上越市内全小中学校の取組であり、当校は12月から試行運用、1月から本格運用となります。このシステムにより、保護者は朝の忙しい時間に電話を使わずに短時間で報告が、担任は情報端末により教室で児童を迎えながら一目で欠席・遅刻が確認できるようになりました。

尚、このシステムには、「配信機能」が搭載されています。今後、学校からのお便りはデータ配信に順次切り替えていきます。この「学校だより」も保護者にはデータで配信しました。ただ、地域回覧はこれまで通り「紙」でお届けします。

インフルエンザ

11月半ばから終わりにかけて、当校ではインフルエンザの流行により2つの学年が学級閉鎖となりました。12月に入り落ち着きを取り戻しましたが、これから本格的な流行の時期に入ります。新型コロナウイルス感染症もまだまだ収まっていません。今後年末年始となり外出の機会が増え感染リスクが高まります。不特定多数と接触する場から帰った後は、お子さんにうがい手洗いなどの感染症対策をするよう、声掛けをお願いします。



三和小学校校章・校歌の歌詞アイデア募集締切直前

前号でお知らせした新学校の校章と校歌の歌詞アイデアの募集締切が12月22日までとなっています。アイデアをお持ちでまだ応募されていない方は、お急ぎください。学校の応募箱の回収が25日ですので、もしかしたら間に合うかもしれません。

1月の予定

	行事等	
12月22日（金）	2学期終業式	
12月29日（金）	年末年始休日（学校無人化）～1月3日	
9日（火）	3学期始業式	
10日（水）	発育測定（上学年） 書初め会（4年・6年）	
11日（木）	発育測定（下学年） 委員会活動 書初め会（3年・5年）	
16日（火）	全校SSE	
19日（金）	三和中学校入学説明会 第1回閉校記念事業実行委員会	
24日（水）	校内書初め展（～31日）	
25日（木）	委員会活動	
30日（火）	全校朝会	